



2019年11月21日発行 会報第996号

今週のプログラム

(2019年11月21日第996回例会)

卓話：「SL紀行ー3 (付録)」

担当：相原 正雄会員

次週のプログラム

(2019年11月28日第997回例会)

「ファイアースイド ミーティング」

担当：木下 健治会長

第995回例会 (2019年11月14日) の記録

<会長の時間>

木下 健治会長

皆様、こんばんは。今日は関西大学の留学生との交流会です。古川先生はじめ、留学生の皆様、今日は楽しみにしていますので、よろしくお願い致します。エリカさんも今日はよろしくお願い致します。来週は大変申し訳ありませんが、欠席させていただきますので、その理由をお伝えさせていただきます。生命保険業界の、平たく言うと成績資格が必要な上位組織であるMDRT (Million Dollar Round Table) で、毎年6月にアメリカで開催される世界大会があり、これに毎年参加しています。ロータリーの国際会議と似たようなものです。来年はロサンゼルス近くのアナハイムで開催されるのですが、運営は全て私達会員によるボランティアです。ここ2,3年は世界中から12,000人くらい参加しているので、運営も大変です。中国の方が一番多く、韓国、台湾、東南アジアからも多くの会員が参加します。この資格は毎年更新で、おかげさまで今まで11年この資格を得ていて、毎年世界大会に参加しているのですが、これまで3回ほどアシスタント・ディレクターというボランティアリーダーを務めたのですが、来年はこのリーダーをとりまとめるディレクターという役になったので、そのオリエンテーションと会場の下見を兼ねて、11/19~22までアナハイムに行くことになりました。決まったのが1か月くらい前なので、急な話となり大変申し訳ありません。アシスタント・ディレクターは、日本人のボランティアを募って、ほぼ日本語でできるのですが、ディレクターになるとアシスタント・ディレクターに指示を出さないといけないので、たくさんの方の国の方がいるので、英語ができないと話になりません。私はあまり英語が話せないので通訳が付いてくれるのですが、日本人がこの役割をどこまでやれるか、見られていると思います。私の知る限りこの役の日本人は初めてなので、来年また日本人が選ばれるように全うしていきます。皆さんもそれぞれの国を代表して来られているので、同じ意識ではないかと思えます。今日は皆さんのお話を楽しみにしていますので、よろしくお願い致します。まずは食事と会話をお楽しみ下さい。

<お客様>

関西大学 准教授 国際部 国際教育副センター長 古川 智樹様

関西大学 国際部 留学生 8名

文学部 総合人文学科・英米文化専修 2年生 陳 佳姫 (ジンガヒ) 在留期間 1年8ヶ月 韓国
法学部 法学 4年生 金 泰淵 (キムテヨン) 在留期間 2年5ヶ月 韓国
大学院 東アジア研究科博士課程 2年生 劉 陽 (リュウヨウ) 在留期間 5年2ヶ月 中国
大学院 理工学研究科修士課程 1年生 李 井榮 (リエイ) 在留期間 3年7ヶ月 中国
大学院 総合情報学研究科博士課程 1年生 洪 文甲 (コウブンコウ) 在留期間 8年1ヶ月 中国
経済学部 3年生 李 肇昕 (リザオシン) 在留期間 4年2ヶ月 台湾
大学院 東アジア研究科博士課程 2年生 劉 洋 (リュウヨウ) 在留期間 5年1ヶ月 中国
大学院 文学研究科修士課程 1年生 楊 紫淇 (ヤンズーチー) 在留期間 1年7ヶ月 台湾

米山奨学生

大阪日本語教育センター 日本語専攻 陳 卉雯 (タンフィウエンエリカ) 在留期間 1年1ヶ月
マレーシア

<出席報告>

黒川 彰夫 SAA

会員数 (内出席免除会員 1名) 19名

本日の出席者数 (内免除会員 0名) 14名
(内名誉会員 0名)

本日の出席率 77.78%

<ロータリーソング>

全会員

♪ふるさと♪

<ピアノ演奏>

近藤 美里さん

1. My Heart Will Go On
2. A Whole New World
3. めぐり逢い

<幹事報告>

渡邊 了允幹事

1. 千葉県豪雨災害義損金協力に対するお礼状が参りましたので回覧いたします。
2. 先週に引き続き地区大会シンポジウムに参加される方がおられましたら、お知らせ下さい。
3. 先週の理事会の議事録をメールで配信しておりますのでご確認お願い致します。

その中で、将来を見据えた有機的な連携と効率的な職務推進を図るためクラブの定款及び細則を変更の方向で検討しています。内容は回覧致しますのでご確認頂き 12月に採決を予定しています。

<委員会報告>

松田 親男会員

先ほどのクラブの定款及び細則の変更原案を回覧しております、アンダーラインの箇所が変更の部分です。12月の総会で議決の予定です、かなりボリュームがあるので事務局に原案を閲覧できるようにしておりますので宜しくお願い致します。

<SAA 報告> 会報にて報告

※スマイルボックス

藤田 芳浩会員：関西大学 古川様ようこそ！！
黒川 彰夫会員：めっきり寒くなりました。
西本 詩子会員：風邪の患者様少しずつ増えています。
コメントなし：西本 明文会員

※ロータリー財団

藤田 芳浩会員：留学生の皆様スピーチ楽しみです！！
黒川 彰夫会員：2020 年度大変ですね。
水本 徹 会員：留学生の皆様ようこそ。

※米山記念奨学会

藤田 芳浩会員：エリカさん本日スピーチ宜しくお願いします！！
松田 親男会員：留学生の皆様ようこそ。
柳原 健治会員：来週、小山さんと釣りに行きます。
コメントなし：西本 明文会員

※ラオス基金

黒川 彰夫会員：ラオスに行こうか？
西本 詩子会員：留学生の皆様よくおこし下さいました。
柳原 健治会員：12 月は、卓話です、うっとおしいな～。
コメントなし：相原 正雄会員

※メイプル基金

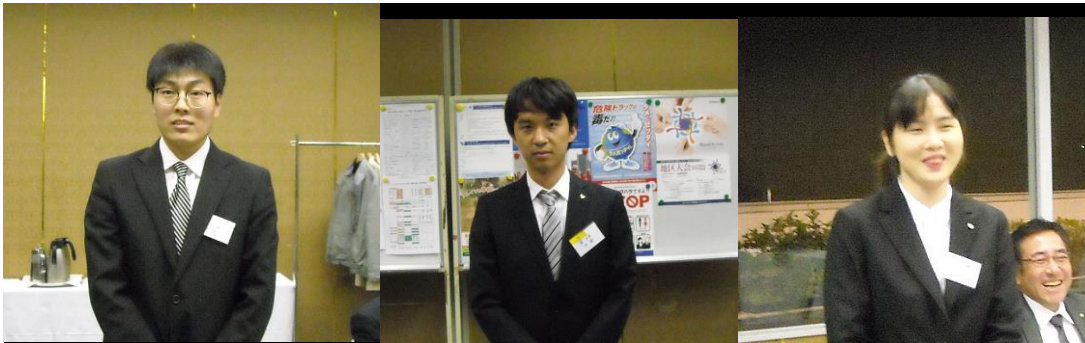
藤田 芳浩会員：本日「留学生との交流会」皆様宜しくお願いします！！
黒川 彰夫会員：克子さんも頑張っているようですね。
水島 洋 会員：留学生の皆さん、ようこそおいで下さいました。
西本 明文会員：留学を歓迎して。
西本 詩子会員：寒椿が咲き始めました。
山本 友亮会員：留学生の皆さまいらっしやいませ。
柳原 健治会員：また、税務調査 2 件です。

＜留学生との交流会＞ 国際交流・青少年委員長代理 藤田 芳浩

テーマ「母国の皆様が興味を持ちそうな日本のこと」（要約は別紙にて参照願います）



陳 佳姫（ジンガヒ）韓国（左）：金 泰淵（キムテヨン）韓国（中央）：劉 陽（リュウヨウ）中国（右）



李 井榮（リエイ）中国（左）：洪 文甲（コウブンコウ）中国（中央）：米山奨学生 陳 弁雯（右）



李 肇昕（リザオン）台湾（左）：劉 洋（リュウヨウ）中国（中央）：楊 紫淇（ヤンズーチー）台湾（右）

関西大学 准教授 古川 智樹様（左）：出席者全員で記念撮影（右）



＜編集後記・追加情報・ チョット一言・ライブラリー・etc＞

本日は、留学生の皆様と交流が出来て楽しかったです。藤田

（文責：藤田 芳浩）



2019年11月14日例会「留学生との交流会」

◎スピーチのテーマ「母国の皆様が興味を持ちそうな日本のこと」の要約及び講評

■文学部 総合人文学科・英米文化専修2年生 陳 佳姫（ジンガヒ）在日期間1年8ヶ月 韓国
日本のドラマ『マラソン』は韓国の映画のリメイク作である。二つの作品とも自閉症を持った少年を描いている。彼らは社会の中で様々な壁に出会う。その中で描かれる韓国と日本の障害者に対する人々の認識を比較し、韓国と日本それぞれの障害者の描き方を分析した。ドラマの一つの場面は受け入れる人々の認識によって変わることもあり、これは日常生活のドラマの中でも反映される。日本人と韓国人それぞれの違った考え方を描いた作品『マラソン』は、自分にとって特別な作品である。

■法学部 法学 4年生 金 泰淵（キムテヨン）在日期間2年5ヶ月 韓国
世界には多くの宗教が存在し、多くの人が宗教を信じている。世界的にはキリスト教の信者数が最も多いが、日本では仏教を信じる人が最も多い。その中でも特に興味深いのは、日本では特定の宗教を持っている、若しくは宗教を持っていないにも関わらず、場合によって異なる神に祈りをするのである。これは「イスラム教」や「キリスト教」などの「唯一神」の考えから見ると珍しいことであり、母国の人々もこのような話をすると興味深い反応を見せる。

■大学院 東アジア研究科博士課程 2年生 劉 陽（リュウヨウ）在日期間5年2ヶ月 中国
母国の人々が興味を持ちそうな日本のことというと、最初に浮かんできたのは和菓子のことです。日常的なお茶請けとして親しまれているだけではなく、豊かな季節感を表現できる視覚的な美しさも重視されているので、食べ物と言うよりむしろ芸術品のような存在ではないだろうかと思い、毎回、もったいないなと思いながら食べています。また同時に、長い歴史の伝統的なものを重んじ、しっかり受け継いでいる日本職人たちの姿にも感動させられました。

■大学院 理工学研究科修士課程 1年生 李 井榮（リエイ） 在日期間3年7ヶ月 中国
母国の友人から「日本人の仕事に対する真面目さは本当なのか」とよく質問されます。日本人は仕事に対して非常に厳しいですが、普段は優しく、思いやりがあると思う場面が研究を通してよくあります。また、日本の食文化においても大変興味があり「繊細な味付けと優れた栄養のバランス及び季節感を大切にすることは日本料理の特徴である」と伝えています。

■大学院総合情報学研究科博士課程 1年生 洪 文甲（コウブンコウ）在日期間8年1ヶ月 中国
中国でよく話題になった日本の自然科学がなぜこんなに発展しているのかについて、以下の3点が重要であると考えます。それは名誉、お金などのためではなく、真理を見つけるまで研究の方向性を失わないという純粋な精神、公平性が保たれている自由な研究環境と、体験を通して好奇心と探求心を育てる教育である。また、自分もノーベル賞と関連する研究テーマをしており、日本で基礎研究を行うことができ大変光栄に思っています。

■米山奨学生大阪日本語教育センター 日本語専攻

陳 卉雯 (タンフィウエンエリカ) 在日期間1年1ヶ月 マレーシア

マレーシアにいる従妹に本日のテーマについて話をしましたところ次の事が話題になりました。それは、日本人が靴を履くときに靴べらを使う事です。マレーシア人は靴を履くときには靴べらは使いません。靴の後ろを踏んで履きます。他の留学生にも訊ねましたら指を入れるとの事です。とても興味があり面白い話題だと思います。

■経済学部

3年生 李 肇昕 (リザオシン) 在日期間4年2ヶ月 台湾

私の母国台湾は、亜熱帯に位置しているため、四季はないと言われていました。

その関係で冬は雪が降ることもなく、スキーなど冬のアクティビティもできません。

そのため、台湾の方にとって、四季の景色とスキーができる日本は非常に魅力があります。2018年のデータを見ると、台湾からの観光客は475万人もいました。台湾政府の統計でも、台湾人にとって日本は最も人気のある海外観光地だとわかります。実際日本で暮らしている私も、毎年冬の訪れを楽しみにしているのです。日本の四季の変化はやはり台湾人にとっては大変面白いことだと思います。

■大学院 東アジア研究科博士課程 2年生 劉 洋 (リュウヨウ) 在日期間5年1ヶ月 中国
色鮮やかで、素材のうまみを最大限に引き出す調理方法を用いている日本料理は中国で注目されています。

日本人は、昔から一汁三菜といったおかずのつけかたが伝統となっています。日本料理の調味料は基本的に、しょうゆ・塩・砂糖・みりんくらいで、香辛料をいれず、薄味にまとまっています。この点は中国人から見ると、非常に興味深いところです。

■大学院 文学研究科修士課程 1年生 楊 紫淇 (ヤンズーチー) 在日期間1年7ヶ月台湾

日本の四季の中で、台湾人が最も興味を持ちそうな季節は冬だろう。なぜかと言うと、日本の冬は雪が降るからだ。台湾は亜熱帯気候なので、冬の最低気温はほぼ15度以上でほとんど雪が降らない。そのため、台湾人は雪に対して特別な情緒がある。雪が降らない場所に生まれた人は雪が降る場所に憧れているのではないかと思う。南国の人はいつでも雪が降る日本を愛している。

◆関西大学 准教授 国際部 国際教育副センター長 古川 智樹様

【本日の講評】

まず初めにいつも大変お世話になり有難うございます。御礼申し上げます。このような機会を頂き留学生にも大きな励みになりました。私は日本語を留学生に教えていて、実際に教え子だった学生が本日参加していますが、スピーチを聞いてその成長に驚きました。今後日本人と世界を繋ぐブリッジ人材となって、言語だけでなく本日のような交流を通じて文化に触れ人を理解して本当のブリッジになって欲しいと感じております。今後とも更なる交流とご支援をお願い申し上げます。